

セリフ

「^{むらい きよの}村井清乃です。^{ふそう こうこく りくぐん けんべい しょうい}扶桑皇国陸軍憲兵少尉で、^{ふそう こうこく}扶桑皇国陸軍第 25 軍^{けんべい たいとく べつ けいさつ たい}憲兵隊特別警察隊に所属しています。階級は少尉で小隊長を任されています。1932 年 10 月 27 日生まれの 17 歳で身長は 156cm です。出身は扶桑皇国の山梨県北巨摩郡穂坂村です。

父は元軍医で現在は村唯一の診療所の医師として地域の人々の健康を守っています。母は幼いころからウィッチの素質を持ち、ウィッチになりたかったそうですが、父と結婚することになり、ウィッチになる夢をあきらめ家庭に入り私を生んだと聞いています。ですから、私がウィッチの素質を受け継いだことはある意味運命ともいえるかもしれません。私は国のためそして夢をかなえられなかった母のためにウィッチとして一生懸命に働かなくてはいいけないのです。

私は航空ウィッチを目指し養成学校を卒業しましたが、最初の配属先で素質がないといわれてしまいました。そこで、陸戦ウィッチに転科しようとしていたところ、憲兵隊に声をかけていただき、憲兵学校に通った後、憲兵隊に転科することになりました。当初は不本意な人事でしたが、任務をこなすうちに憲兵として成果を上げることができ、今では私の固有魔法も活かせる天職だと感じています。

私は、悪は絶対に許しません。正義は絶対です。^{ぐんぽう}軍法や^{ぐんりつ}軍律に違反する者は上官だろうと見逃すつもりはありません。絶対に私が逮捕してみせます。

私には信頼できる部下や仲間がいますから、どんな任務でもつらくありません。先日、スパイを一網打尽にしたときも部下や仲間がいたからこそ成し遂げられました。本当に頼もしいものです。」